

佐倉フィルハーモニー管弦楽団  
第26回定期演奏会

THE SAKURA  
PHILHARMONIC  
ORCHESTRA  
THE 26th REGULAR  
CONCERT

主催 佐倉市民音楽ホール・佐倉フィルハーモニー管弦楽団

# 佐倉フィルハーモニー管弦楽団 第26回定期演奏会

指揮：諸遊耕史



M.P. ムソルグスキー	交響詩「はげ山の一夜」
G. ビゼー	「アルルの女」
第一組曲より	
I. 前奏曲	Allegro deciso
IV. カリヨン	Allegretto moderato
第二組曲	
I. パストラル	Andante sostenuto assai-Andantino
II. 間奏曲	Andante moderato ma con moto-Allegro moderato
III. メヌエット	Andante quasi allegretto
IV. ファランドール	Allegro deciso-Allegro vivo e deciso
P.I. チャイコフスキー	交響曲第4番へ短調作品36
第1楽章	Andante sostenuto-Moderato con anima
第2楽章	Andantino in modo di conzona
第3楽章	Scherzo
第4楽章	Allegro con fuoco

1996年12月22日(日)午後2:00開演  
佐倉市民音楽ホール



## 井出 潔

ごあいさつ

こんにちは

1996年、あとわずかとなりました。

今年もいろいろありました。お互い？

当団では、1月29日、創立者であり常任指揮者であった亀山修二先生が逝かれました。それはそれは大きなショックでした……。

以来、皆様はじめ後援会員各位、多くの市民の方々のご支援とご厚情によって、団員一同もそれぞれの力を出し合って、本日に至っております。すべて感謝です。また、諸遊耕史先生を前25回に続きまして今回も指揮者としてお迎えできますことは、ありがたく、嬉しいことです。一同いっしょうけんめい演奏させて頂く所存、ごゆるりとご鑑賞の程お願い申し上げます。そして、ご批判等お寄せくだされば幸いです。

末筆ながら、新しい年が皆様おひとりおひとりにとって輝けるお年であるよう、心からお祈り申し上げます。

本日はありがとうございます。

## 指揮者プロフィール



### ～ 諸遊耕史 ～

桐朋学園大学卒。指揮を秋山和慶、山本七雄、高階正光、湯浅勇治各氏に師事。ピアノを渡辺洋子、塩野圭子、大崎かおる各女史に師事。和声等を香月修氏に師事。

現在、同大学付属指揮教室に所属。“Heart Wrenching”メンバー。

又、1994年より数ヶ月毎に行われている“湯浅勇治氏（ウィーン音楽院大助教授）による指揮講習会”に参加、そのメンバーより成る「東京指揮研究会」の会員でもある。

各地のアマチュア・オケ、合唱団を指導する傍ら、東京シティオペラ協会の副指揮も務める。

## 「はげ山の一夜」——ムソルグスキー作曲

日は暮れ、山は闇に包まれました。一陣の突風が吹き過ぎて行きます。今夜はここで悪魔たちが酒宴を開くのです。骸骨がカタカタ鳴っています。そこに魔王チェルノボグの登場です。うわー、地面から幽霊たちが湧き出て来ます。魔王を誉め讃える歌が聞こえます。やがて集まった魔物たちの宴会が始まります。しかし、その宴が佳境に入ったころ、朝を告げる教会の鐘が鳴ります。すると、一人(?)また一人と魔物たちは姿を消して行きます。平和な朝が訪れたのです。

ざっとこのようなストーリーが、まさに絵のように展開していきます。ディズニー映画の名作「ファンタジア」でも描かれていましたが、皆さんも、どうぞ佐倉フィルの演奏を聞きながら、恐ろしい一夜、そして心休まる朝の情景を思い描いてみてください。

さて、ムソルグスキーの名を聞いて、まず思い浮かぶのは「展覧会の絵」という方が多いのではないのでしょうか。もちろん原曲も有名ですが、ラベルの編曲による管弦楽版で親しまれる方も多いでしょう。この「はげ山の一夜」も、残された楽譜をもとにリムスキー・コルサコフによって編曲された版で演奏されるのが通例です。今日の、われわれの演奏もそうです。しかし、例えば指揮者のクラウディオ・アバドは昔から原曲版を使用しているようで、1994年にベルリン・フィルとの来日公演でその演奏を聞くことができました。楽器の使い方だけでなく、メロディもかなり異なったものが出てきます。ムソルグスキー自身の力強い素朴な表現力を取るか、リムスキー・コルサコフによる洗練を取るか、ということになるかも知れません。

ヤマハ製品販売  
ピアノ・エレクトーン・管楽器・弦楽器他  
中古楽器販売・調律・修理・楽譜各種取扱  
在宅指導者税務無料相談!!  
城南幼稚園会場にて生徒募集中!!  
ピアノ・エレクトーン・幼児科

**三陽楽器店**

〒272 市川市真間1-3-21 TEL 0473-22-1834

**団員募集**  
弦・管各パート

ご連絡は

岩立 043(489)4486

長谷川 043(258)1050

綱島 043(461)0351

歌劇「カルメン」で有名なフランスの作曲家G.ビゼーは37年の短い生涯のうちに美しい曲をいくつも残しました。同国の作家ドーデーによる戯曲「アルルの女」のための劇の付随音楽27曲のうちから、作曲自身が選んで演奏会用に改編したものが第一組曲です。

- I. 前奏曲 「三人の王様のマーチ」というプロバンス地方の民謡のメロディが力強く響きます。5回、趣を変えながらこの節が演奏されます。後半は弦楽器の伴奏の上にサクソフォーンが息の長い、悲しげな旋律を演奏します。サクソフォーンは、あまりオーケストラの演奏会には登場しませんが、この曲の中では実に大切な、そしてすてきな演奏をたくさん聞かせてくれます。
- II. メヌエット 今日演奏しませんが、リズムカルな舞曲です。
- III. アダージェット これも今日は演奏しません。弱音器をつけた弦楽合奏による、穏やかな、心にしみいる曲です。機会がありましたら一度お聞き下さい。
- IV. カリヨン 婚礼を祝う鐘が鳴り響く中、明るく陽気な旋律が繰り返されます。組曲のしめくりにふさわしいと言えるでしょう。

ビゼー自身はこの4曲しか選ばなかったのですが、まだまだ良い音楽がたくさんあることを惜しみ、残された曲の中からビゼーの親友、エルネスト・ギローが4曲を選んで編曲したものが第二組曲です。

- I. パストラル 田園曲、と訳されたりすることもあります。牧歌がたっぷりと歌われ、吹きかゝる角笛、そして軽快な踊り。やがて、また牧歌が聞こえてきます。
- II. 間奏曲 荘重な男声合唱を思わせる開始の後、主旋律がサクソフォーンとホルンで演奏されます。この節は「神の仔羊」という歌詞をつけて賛美歌に編曲されたほどで、心の奥に響いてくるものがあります。
- III. メヌエット フルートの独奏曲として有名です。出だしのハーブだけの伴奏もすてきですが、全合奏による中間部を終えて、同じメロディが今度はサクソフォーンとからみ合うように出てくる所など、実に天国的な美しさがあると思いますがいかがでしょう。この曲はもともとの劇音楽ではなく、歌劇「美しきベルトの娘」から取ってきたものです。今では、すっかり有名になったので、劇を上演する時にも演奏されるようになりました。
- IV. ファランドール 再度「三人の王様のマーチ」で始まりますが、まもなく急速なファランドールの主題へと場面が変わります。楽器が増え、次第に盛り上がり、ついには「三人の王様のマーチ」も表れ、まさに熱狂のうちに組曲を閉じます。

## 佐倉南部読売販売有限公司

代表 石渡 清一

❖販売店❖

佐倉市城字松ヶ丘190-42

**043-485-8790**

❖取扱い新聞❖ 読売新聞・報知新聞・日本証券新聞  
千葉日報・農業新聞・日刊投資新聞 他

蔵六餅・栗蔵六・落花まんじゅう  
慶弔仏事・各種引出物

## 蔵六餅

梅のかほり

本舗 (株)木村屋

佐倉市新町222-1

☎043-484-0021

## 交響曲第4番 へ短調作品36 ————— チャイコフスキー作曲

昨年の「悲愴」に引き続き、佐倉フィルではチャイコフスキーに取り組みました。「なぜクリスマスに『悲愴』なんだ!」と話題にされたらしいですが)

チャイコフスキーは6曲の交響曲を書きました。一般に聞かれるのは後半の4~6番ですが、その中でこの第4交響曲が一番「派手」に聞こえるかと思います。少し、各楽章の中身を探ってみましょう。

曲はホルンとファゴット、次いでトランペットとファゴット以外の木管がそれぞれ *ff* (フォルテシモ) で演奏するファンファーレで始まります。作曲者本人が「序奏部は交響曲全体の種子であり無条件に主要楽想です」と述べているそうですが、その言葉の通り、第1楽章だけでなく第4楽章の途中にも、混沌とした世界のすべてを断ち切るように突如表れてきます。

第1楽章の主部は、3拍子のワルツをさらに3つまとめた9/8拍子です。沸き上がるように、多くのフレーズが、あるいは大声あるいはひそやかに、浮かんでいきます。リズムの取りにくい楽章で、一度わからなくなると小節を数えるのが難しく、これまで多くのオーケストラの本番を混乱におとし入れてきたと言われていています (あくまで噂です)。

第2楽章はオーボエの美しいソロで始まります。もちろん *f* も *ff* も出てきますが、決して荒れることなく、全体に、非常に落ち着いた、平和な楽章です。

第3楽章では、弦楽器の弓は必要ありません。終始、指で弦をはじく「ピチカート」という奏法で演奏します。まるで楽器紹介のように、弦楽器→木管楽器→金管・打楽器と順に登場します。各パートの腕の見せ所というところでしょうか。

終楽章は激しく上下する序奏で始まります。その後木管楽器に出てくるメロディは「野に白樺は立っていた」というロシア民謡の旋律です。何回かの狂乱の後、*fff* が45小節(!)も続いて、熱狂的に締めくくられます。この辺になりますと、我々アマチュアには“体力勝負”の面も出てきますが、楽しく打ち上げをするために最後にひと頑張り。

### 有限会社 佐倉読売サービスセンター

代表 西村一郎 / 石渡清一

●本店 佐倉市鎌木町1205-2 TEL043-484-2148・0285

FAX043-484-2149

●城支店 佐倉市石川302-8 TEL・FAX043-484-5575

取扱い新聞

読売新聞・報知新聞・日本証券新聞  
千葉日報・農業新聞・日刊投資新聞他

〈洋品・寝具の店〉

ツミク

京成臼井駅北側

TEL487-3022

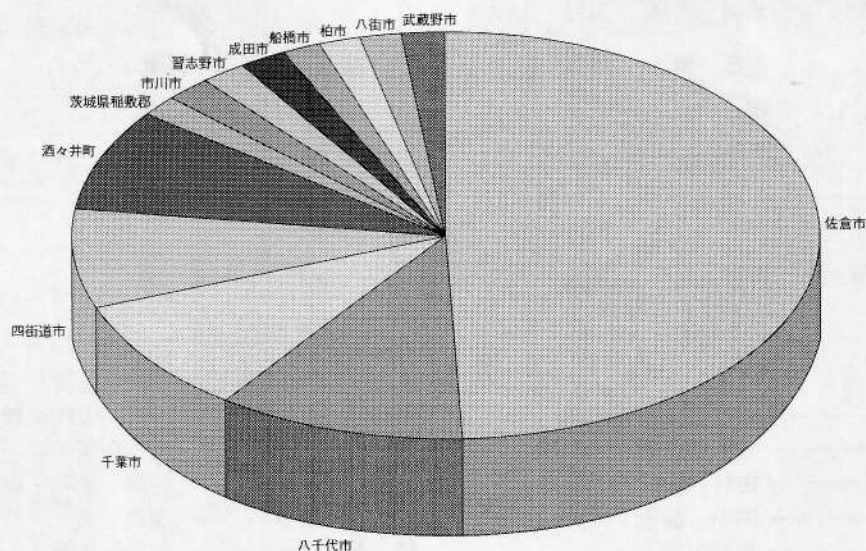
# 佐倉フィルって？



われわれ佐倉フィルハーモニー管弦楽団は、昭和58年10月に市内の音楽愛好者によって結成された佐倉室内オーケストラとしてスタートしました。結成以来同名称で活動を続けてまいりましたが、第10回の定期演奏会を機に、佐倉フィルハーモニー管弦楽団と改名致しました。

現在団員は約50名で、年齢は10代から50代までと幅広く、経験年数も初心者から10年以上のベテランまでと様々です。また佐倉市民音楽ホールの育成団体として市当局からも支援を受け、年2回の定期演奏会は、音楽ホールの主催事業として実施されています。今後とも皆様方のご支援、ご指導のほどよろしく申し上げます。

どこから来るの



さすがに佐倉市内在住の団員が多いですが、ずい分遠くから来ている団員もいます。皆さんも一緒に音楽を創ってみませんか。

## ●次回演奏会

■第27回定期演奏会 交響曲第3番変ホ長調「英雄」(ベートーベン) 他

1997年6月29日(日) 午後2時 佐倉市民音楽ホール

# 佐倉フィルハーモニー管弦楽団

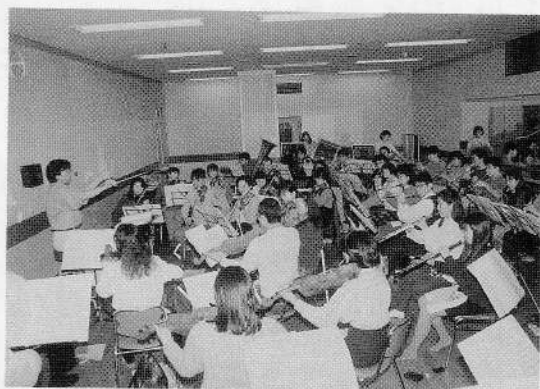
楽 団 長：井出 潔  
 団内指揮者：水間 英城  
 コンサートマスター：城 みどり

- ヴァイオリン 天本 幸江 渡辺 美晴 小林 由美 畑 保子 河村 篤  
 酒井万里子 日比野 泉 生田 美植 内田 美枝 栢原 卓哉  
 池田 彩 比留間 真 古川 伸二
- ヴィオラ 木下 雅博 白井 英子 藤本 慶子 舘 英司 菊池佳世子  
 河辺 修次
- チェロ 久保田宣孝 内藤 久子
- コントラバス 福富 正樹
- フルート 柳田 晴生 田辺 尚子 大橋さゆり 志田 徳子 植木 理絵  
 千葉 綾乃
- オーボエ 長谷川陽子 田中 晶子 山田辰雄 福原 康雄
- クラリネット 岩立智恵子 石鍋 豊和 米林 直美 香月 佳世
- ファゴット 水間 英城 田村 太郎
- ホルン 佐藤 慎一 綱島 英一 田中 裕子 坂本 直樹
- トランペット 藤原 正美 石井 和之 岡野 泰江 稲垣 毅紀
- トロンボーン 村上 茂夫 阿野 明彦
- チューバ 氏家 豊
- パーカッション 松浦 克彦 篠原かつ江 新井田久美子
- ハープ 茂木 美和

演奏委員長 —— 水間 英城  
 事務局長 —— 岩立智恵子  
 副事務局長 —— 田村 太郎・長谷川陽子  
 会 計 —— 田中 晶子・白井 英子  
 団員募集 —— 長谷川陽子  
 ステージマネージャー —— 柳田 晴生・石井 和之

楽 譜 —— 岡野 泰江・藤本 慶子  
 アナウンス —— 松本久美子  
 プログラム編集 —— 石鍋 豊和・坂本 直樹  
 インスペクター —— 綱島 英一  
 備 品 —— 藤原 正美





音楽を創るひととき  
今度はあなたも一緒に…



## ●佐倉フィルハーモニー管弦楽団後援会員募集

- 演奏会の予定を連絡します。
- 演奏会のチケットを進呈します。
- 佐倉フィルハーモニー管弦楽団の活動を支援します。
- 会員相互の親睦をはかります。

■会費：個人／2,000円 団体／5,000円（1年分2口）特別会員（6口）

本日ロビーで入会の受付をしております。

《お問い合わせ》 新田 ☎043-484-0173までご連絡下さい。

## 佐倉フィルハーモニー管弦楽団後援会員芳名 （平成8年10月1日現在）

会長：比留間 尚

副会長：野口 甫 佐藤 強 蜂谷 光臣 細谷 周三

理事：伊藤 俊一 飯田 俊郎 井出 潔 海老原 衡治 大野 優身 大宮すみえ

黒田 紀之 新田 千恵 長名 秀明 並木 信也 平山 幸夫

比留間美恵子 渡辺 知男 沖 博之

### ■特別会員

岩淵薬品(株)  
(株)大川水道  
幸田薬局  
順天堂医院 佐藤 強  
東豊土木工業(株)  
野口屋  
(株)ボン・ドレイク  
大昌建設(株)

白井ショッピングセンター  
(株)小川園  
さくら銀行 佐倉支店  
(株)セガ・エンタープライゼス 佐倉事業所  
常磐植物化学研究所  
フジクラ 佐倉工場 河端輝次  
水野 清

扇屋ジャスコ 白井店  
北詰商店  
三城建設(株)  
千葉銀行 佐倉支店  
中山建設(株) 佐川 博  
ホソヤミート 細谷周三  
両総信金

### ■団体会員

市原整骨院 院長 市原明彦  
(有)佐倉読売サービスセンター  
(株)積田呉服店  
(有)エヌケイ商店 中村孝治  
鮎忠 王子台店  
(株)ヤマニ味噌 藤川浩志  
林農社 中台一雄  
KK 大和  
比留間 尚  
(有)井原商店  
蜂谷 光臣

(有)エビハラ  
田中酒造店  
戸村歯科診療所  
並木商店 並木信也  
本町薬局  
山藤建設  
(株)鈴木金物店  
(株)いせや  
(株)ホームプラザクニトモ  
印南興業(株)

コラム  
大伸食品(株)  
鳥羽ミート・レイクピア店  
船橋信金 白井支店  
山口産業 滝口文雄  
(株)ヨシダ  
(株)藤宏 武藤 宏  
佐倉城南幼稚園  
三谷屋呉服店  
立崎 浩

### ■個人会員

相川 健三	萌 重子	淡路 俣男	飯田 俊郎	石井 敏子	石井 豊
伊谷 廣子	伊藤 俊一	伊藤代々子	犬童美代子	岩撫 滋子	内田 勝也
内田 文子	海老原綾子	海老原衡治	大谷 恵子	大野 優身	大橋 至
大宮 高市	大宮すみゑ	岡 昭	岡嶋千代野	岡本 節子	小野 京子
角田 綾子	笠原 晃	加藤 啓子	加藤 紘	鎌田 治夫	狩野 庄司
川又 英男	木村美津枝	黒田 幸夫	黒濱 晃道	黒濱 ツネ	国府田重遠
小嶋美代子	小嶋 久子	小檜山俊彦	斎藤 明	齋藤 慎子	酒井アキ子
櫻井 實	佐々木栄子	佐藤 強	佐藤 光代	清水 ルリ	清水ハルミ
下地 正信	下地 洋子	末永 久子	末永美美子	菅波 卓	菅波テル子
杉浦 祺子	杉森 導	須崎 広子	鈴木 三郎	鈴木 玲子	鈴木とみ江
鈴木 英雄	鈴木 博子	平良 嘉男	高石惣一郎	高野 顕彦	高橋貴江子
高橋美恵子	高橋 忠靖	田代 都美	田島 利雄	田中 勘一	富澤 一柳
中村 和江	長竿 民子	並木 信也	奈良サト子	西山 静子	西山 輝子
新田 泰光	新田 千恵	野口美知子	浜本よしゑ	林 澄江	菱田 和夫
比留間美恵子	福留 光子	藤崎 光江	藤田 敏明	藤巻日出夫	古川 貞子
前田三代子	松浦志江子	松原とし子	三橋 淳一	宮崎 勝弘	宮村須江子
宮下 豊	森 節子	矢崎 幸子	山路 昇	山田 清吉	横橋彌壽夫
平山 幸夫	日暮 幸雄	山本 重盛	平山 晴子	青柳 滋	萌 政子
星野千鶴子	大木 享	星野 浩子	斉藤広三郎	田渕 實	桜井真理子
蜂谷 光臣	渡辺 映子	吉野 一志	今井 秀雄	近藤多美子	竹田あつ子
根本千恵子	萩原勝四郎	今井千代子	土岐 悦子	小川 敬子	行方 幸子
石渡 清一					

来てみて下さい。病気に勝つ法教えます。

## 幸田薬局

●京成佐倉駅前通り●

TEL **484-0813**

## 伝統の技

木村工務店

佐倉市並木21 木村次郎  
TEL 486-8569 FAX 486-8569

ゆったり駐車。らくらくショッピング。

P 800台

皆様の暮らしに役立つ

大型ショッピングセンター



レイクピアウスイ

扇屋ジャスコ白井店

京成白井駅前 〒285 佐倉市王子台1-23 TEL **043-461-1111**

## 緑と歴史の 城下町 佐倉

祝 第26回定期演奏会

お弁当のご用命は

心の旅

## いせやの弁当

JR佐倉駅前

JR構内営業(株)いせや  
中央会々員

〒285 千葉県佐倉市六崎264の11  
TEL **043(484)0052**(昼)・(夜)



ファミリーチェーン

## 野口屋

本部 佐倉市白井田1027

TEL **043-487-2516**  
**043-489-5610**

白井店・志津店・高津店・千城台店  
レイクピア店(一心・八百一・銀屋・ハッピードア)

## 医薬品原料製造

近代医薬発生のゆかりの地佐倉で植物より医薬品製造を志して35年植物化学の研究と応用が我社の課題です。



## 常磐植物化学研究所

本社工場 佐倉市木野子158 TEL **498-0007**(代)

東京営業所 TEL **(03)3243-0993**

TOTAL PRINTING

## (株)翠松堂

千葉市花見川区幕張町5の417の116  
TEL **043(273)8625**(代)

このプログラムに掲載させていただいた広告は、佐倉フィルハーモニー管弦楽団の活動を賛助するために提供されたものです。